



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和3年3月24日

232名の旅立ち～第71回卒業式



コロナ感染症対策のため保護者1名のみのお出席というなかで、第71回卒業式が挙行され、232名の生徒が本校から旅立ちました。

各クラス代表が卒業証書を受け取った後、卒業生を代表して6組若原亜蘭さんが卒業後の抱負と先生方、保護者への感謝と支え合った仲間への未来に向かうエールを含めた卒業メッセージを読み上げました。

退場の際は、各クラスが保護者の方々に向かって一礼し、お礼の言葉を述べるなど穏やかで温かい雰囲気の中での卒業式となりました。式に先だってBGMとして流した札幌交響楽団による演奏も披露されました。

三条高校より巣立った232名の卒業生の栄えある未来をお祈りいたします。

本校放送局製作動画 企業インタビュー完成

十勝で働く魅力や若手人材の活躍を発信することで、高校生が地元で働く可能性に目を向けてもらおうと十勝教育局が企画した「とかちで、はたらこう！」動画の「企業インタビュー」編が完成しました。これは十勝教育局から依頼され、放送局が作成したもので、音更町の(株)山本忠信商店に勤める2名の若手社員にインタビューし、十勝で働く魅力や会社の雰囲気などがよく伝わる内容になっています。そしてそれをより引き立たせるのが、時折流れる風景の映像。本校放送局が撮影した膨大な映像ストックからインタビューの内容に合わせて選んだもので、十勝の雄大さと農業の魅力がよく伝わるものになっています。この動画は管内公立高校に配布されたほか、十勝教育局高等学校指導班のHP (<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tyk/kk/top.htm>) にアップされています。ぜひご覧ください。



見学旅行を終えて

保護者の皆様に感謝申し上げます

旅行団団長(教頭) 藤橋昌俊



「見学旅行に行けて良かった」「何もかも思い出になった」。令和2年度見学旅行は、令和3年3月9日～12日、3泊4日の日程で関西方面に見学地を変更し実施。生徒は安堵の様子と充実した表情でその時の様子を語ってくれます。中でも「行って良かった」「本当にうれしい」など感謝の言葉を口にする生徒が実に多いこと。もちろん、それは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、様々な点で制限があったからにはほかなりません。

見学旅行先は、「神戸」・「USJ」・「京都」・「大阪城」。1日目 神戸港から見える夕日を背にしてのディナークルーズ。2日目 朝から弾ける笑顔で夢と冒険の国USJを満喫。3日目 実行委員が中心となって決めた京都市内クラスごと一日研修。4日目 大阪城天守閣から市

内を一望。生徒は「コロナ禍の見学旅行」の意味をしっかりと理解し、見学旅行前後の体調管理や行動制限、記録・点検も怠っていません。教員も例年以上に緊張した引率となりましたが、いずれの見学地でも、輝く生徒の笑顔と立派な行動に勇気づけられました。

最後になりますが、今回の目的が無事達成できたのは、保護者の皆様のご理解とご協力なくしてはあり得ません。感謝申し上げます。2年次の最後に今回の思い出多き見学旅行を実現できたことが今後の進路への切り替えにつながり、ますますの活躍となることを期待しています。



ご退職・異動される先生方から三条生へのメッセージ



◆上田和利 教諭（ご退職）

今、お別れに当たり、皆さんに一言メッセージを贈ります。今の私たちが生まれてくるためには三百年間におよそ千組のカップルがいなければならないそうです。つまり、大勢の命と縁が繋がって今の私たちがいます。また地上の命の中で「人」として生まれてくる確率は二兆分の一くらいだそうです。この奇跡へと命を繋いできた先人の長い道

のりを思うと、ただ「ありがとうございます」と頭が下がります。また、出会うということ自体もまた一つ一つの奇跡の重なりにも思えてきます。三条高校に赴任して五年間、ここで皆さんと共に過ごしたことに私自身感謝したいと思います。皆さんもこれから様々な人、物、事に会おうでしょう。大げさかもしれませんが、「出会い」は奇跡です。良い出会いを重ねて心豊かに成長してゆくことを期待して、ご挨拶とします。



◆小森謙二 教諭（ご退職・鹿追再任用）

このたび三条高校で二度目の卒業を迎えました。特に、高校時代の先生方には心から感謝を申し上げなければなりません。大人に迷惑や苦勞をかける若者が増え始めた当時、正直に申し上げると三条高校の生徒のなかにも傲慢無礼なものがありました。先生方は見捨てることなく面倒を見てくださいました。教員となりそのご苦勞を初めて実感できたのですが、「風樹之嘆」のように、今となっては受けた恩を直接お返しする機会が少なく、残念です。

勉強や部活動に懸命に取り組む後輩の皆さんにはいつも感心させられますが、支えてくださる保護者や先生方、友人の苦勞を考えることはできていますか。見えないものや聞こえないものを感じ、見つめたり耳を澄ますことができれば、他人の心を傷つけてでも自我を通そうとするような人間にはならないでしょう。お元気で。

勉強や部活動に懸命に取り組む後輩の皆さんにはいつも感心させられますが、支えてくださる保護者や先生方、友人の苦勞を考えることはできていますか。見えないものや聞こえないものを感じ、見つめたり耳を澄ますことができれば、他人の心を傷つけてでも自我を通そうとするような人間にはならないでしょう。お元気で。

◆塩田 晃 教諭（札幌丘珠へ）

帯広三条高校で美術を教えることになり、十勝に住むようになって15年が過ぎました。その間の、在校生の皆さんやたくさんの方の卒業生、そして教職員、保護者の皆さんとの出会いは、私の財産です。私的なことでは、十勝で美術の仲間ができて、自分の作品を発表する場にも恵まれました。他の地域では実現しなかったかもしれないことで、この縁に感謝しています。十勝は私にとって特別な場所になりました。



この度は、新しい縁を得て、三条を去ることになりました。十勝の風土と文化と人、そして帯広三条高校が大好きなので寂しいです。コロナ禍ではありますが、皆さんはやがて来る卒業の日まで、この三条で精いっぱい学び、部活動に励み、たまには思索にふけて、青春を謳歌してください。皆さんの躍進を祈っています。

◆矢ノ目慎也 教諭（帯広柏葉へ）

私が三条高校で過ごした15年間を振り返ると、世の中が日々変化してきたことを実感します。それは、既に承知のことと思いますが、これから社会で活躍しようとする高校生にとっても、求められる能力が変化しているということです。そのため大学入試が変わり、学習環境も変わろうとしています。これからは知識だけではなく、それらを活用する能力や、多様な人々と課題の解決に向かう能力が問われています。これらの能力を磨くためには、三条高校の仲間とともに学習活動、部活動、学級活動に精一杯取り組むことが大事です。私もこの三条高校で、素晴らしい先生方や生徒たちとの出会いの中で貴重な勉強をしました。みなさんも、級友から刺激を受けて学び合い、進路目標の実現に向けて頑張ってください。



私が三条高校で過ごした15年間を振り返ると、世の中が日々変化してきたことを実感します。それは、既に承知のことと思いますが、これから社会で活躍しようとする高校生にとっても、求められる能力が変化しているということです。そのため大学入試が変わり、学習環境も変わろうとしています。これからは知識だけではなく、それらを活用する能力や、多様な人々と課題の解決に向かう能力が問われています。これらの能力を磨くためには、三条高校の仲間とともに学習活動、部活動、学級活動に精一杯取り組むことが大事です。私もこの三条高校で、素晴らしい先生方や生徒たちとの出会いの中で貴重な勉強をしました。みなさんも、級友から刺激を受けて学び合い、進路目標の実現に向けて頑張ってください。



◆對馬 光 教諭（札幌英藍へ）

昨年担任として卒業生を見送り、今年も副担任として卒業生を見送りました。多くの顔見知りの生徒がいなくなった今、自分も異動していくのはもしかするとよい節目なのかもしれません。ただ十四年間の長きにわたってお世話になった三条の思い出は、簡単に無くしたいものではありません。小林秀雄という人が言っています。「思い出が、僕らを一種の動物であることから救うのだ。記憶するだけではいけないのだから。思い出さなくてはいけないのだから。」またこうも言っています。「上手に思い出することは非常に難しい。」私は三条のことを上手に思い出しながらこれからを過ごしていくつもりです。そして在校生の皆さん、皆さんの高校生活はまだ思い出でも過去でもありません。卒業の日まで一生懸命で一途な日々を。

思い出が、僕らを一種の動物であることから救うのだ。記憶するだけではいけないのだから。思い出さなくてはいけないのだから。」またこうも言っています。「上手に思い出することは非常に難しい。」私は三条のことを上手に思い出しながらこれからを過ごしていくつもりです。そして在校生の皆さん、皆さんの高校生活はまだ思い出でも過去でもありません。卒業の日まで一生懸命で一途な日々を。



◆金澤啓史 教諭（ご退職・三条再任用）

いよいよ定年を迎えることとなりました。その最後の年に担任として卒業生を送り出す事ができ、幸せを感じています。

3年1組のみんな、本当にありがとう。頑張れる生徒たちと最後の年を迎えられて、本当に楽しかったです。三条に在職していた5年間で関わる事のできた生徒のみんな、そして何よりも一番接する事のできた剣道部のみんな、本当にありがとうございました。この5年間の思い出は決して忘れません。

今後はこの経験を糧に、次のステップに進みます。三条高校で引き続き教員として働かせていただく事となりました。今後ともよろしく願いいたします。みんな、「顔晴って」いきましょう。

今後はこの経験を糧に、次のステップに進みます。三条高校で引き続き教員として働かせていただく事となりました。今後ともよろしく願いいたします。

みんな、「顔晴って」いきましょう。